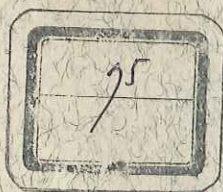


NOTE BOOK

CONTAINING BEST RULED FOOLSCAP

敬堂

第シイ四回入選作品



雑草の研究

6の3

荒花正反



1. 研 究 の 動 機

父は、毎朝のように家の回りの雑草とりをしているが、よくはえるものだ。

ぼくも、時たま、雑草とりを手伝っているが、その時、気づいたことは、①雑草は種類が多い。②畑にはえているのと同じ種類の雑草がある。③人が歩いている所は、はえにくいということだ。

ぼくの家のはりは、家をたてる時に土をもち砂地だし、畑の土は、昨年、家の南側に道がきれたので、新しく家のものになった土なのだ。この畑の土と砂地による植物のちがい、気こうによる植物のちがい、天こうによる成長のちがい、根のちがいなどについて調べてみようと思った。

2. 観察場所と観察日

①. 観察場所

畑——2坪(家の回りより、雑草の生え方がはげしいように思われるので、いちご畑だけにした。)

家の回り——62坪(101坪の中から建物の38坪をのぞいた。)

② 観察日

毎日は大変なので毎週日曜日にした。

3. 観 察

6月28日

	植 物 名	畑 (本)	家の回り(本)
①	不明 ヨモギ	243	0
②	スギナ	9	37
③	ハコベ	14	2
④	① ユベリヒユ	23	0
⑤	アカザ	10	3

⑥	② オヒシバ	8	6
⑦	タネツケバナ	9	0
⑧	③ ヒメムカシヨモギ	3	0
⑨	④ メヒシバ	14	0

たくさんの雑草があり、分けるのに苦労した。名前がわからないのがあったので後で調べてみようと思った。雨がふったり、晴れの日があったせいか、はじめ考えていたより多くの雑草があった。畑より、家の回りの方が31ばいも広いのに、畑の方が雑草が多いのにおどろした。家の回り・畑ともは小さいのが中位のが多かった。植物を調べた。わからない植物名はいそ

くおし調べてみる。
7月5日

	植 物 名	畑 (本)	家の回り(本)
①	不明 ヨモギ	0	0
②	スギナ	14	43
③	ハコベ	0	0
④	① ユベリヒユ	22	5
⑤	アカザ	10	3

⑥②	オヒシバ	23	24
⑦	タネツケバナ	20	0
⑧③	ヒメムカシヨモギ	19	2
⑨④	メヒシバ	3	10

そう合の本数では、畑家の回りともに少ないし、
種々の数も少なかった。これは、今までとちがって
前週に全部雑草をとったためだと思う。それに晴
れが続き、雨がうらなかつたせいもあると思う。
前週たくさんとれたスベリヒユがきゅうけきになっ
たこれは、どうしてこうなったか、ぜんぜん想
像もつかないほどわからない。今週の雑草は、
小さいのばかりだった。

7月12日

	植物名	畑 (本)	家の回り (本)
① 不明	ヨモギ	0	1
②	スギナ	3	10
③	ハコベ	10	0
④①	ユベリヒユ	50.6	50.6

⑤	アカザ	3	36
⑥②	オシシバ	24	145
⑦	タネツケバナ	2	13
⑧③	ヒメムカシヨモギ	8	19
⑨④	メヒシバ	0	5

そう合の本数では、前週よりも多かったようでしたが
オシシバやメヒシバをぬいては、前週よりとれた
本数が少なくなっている。スベリヒユが1倍もふえ
たことには、おどろいた。ユベリヒユは、これか
ら、さかんにはえるのではないかと思う。今週は
晴れが続いた。今週は、小さい雑草が多くとれたと
くに、ユベリヒユなどはさがりがはじまるせいか大部
分が小さいユベリヒユでした。

7月19日

	植物名	畑 (本)	家の回り (本)
① 不明	ヨモギ	0	2
②	スギナ	13	32
③	ハコベ	0	1

④	①	ヨモギ	4	724
⑤		アカザ	2	24
⑥	②	スギナ	23	147
⑦		タネツケバナ	0	0
⑧	③	ハコベ	0	7
⑨	④	ミズヒコ	1	6

その日の雑草の本数は前回はこえて多くなってきた。今日とった雑草は、畑家の回りとも小さいのと中位のが多い。今週も晴れの日が続いた。スベリヒコはほかの雑草にくらべてすばぬけて多く、うなぎのぼりのように本数が多くなりました。まったくスベリヒコは今がさかりたなと思った。⑨がほかの雑草にちがい、大きくてぬだった。

7月26日

		植物名	畑 (本)	家の回り (本)
①	朝	ヨモギ	1	0
②		スギナ	11	16
③		ハコベ	0	0

④	①	ヨモギ	24	309
⑤		アカザ	11	27
⑥	②	スギナ	23	73
⑦		タネツケバナ	0	0
⑧	③	ハコベ	2	0
⑨	④	ミズヒコ	0	14

その日の本数は、今までとちがって少なくなり、タネツケバナをぬいては本数はへっている。スベリヒコなどは前回の724本から309本と2分の1になった。これは、今まで多くていたためだと思えます。畑も家の回りの方も小さいのが中位のが大部分です。今週の天気は、雨も少しはふったが、大部分の日が晴れの日でした。

8月4日

		植物名	畑 (本)	家の回り (本)
①	朝	ヨモギ	8	0
②		スギナ	1	15
③		ハコベ	0	1

④	①	コ	157	490
⑤		ア カ ガ	16	64
⑥	②	タ	20	58
⑦		タネツケバナ	0	0
⑧	③	ヒ	1	5
⑨	④	メ	3	19
⑩		カ タ バ ミ	16	29
⑪		カヤツリグサ	0	4
⑫		エノコログサ	0	1
⑬		ニシキリンソウ	2	6
⑭	⑤		0	6
⑮	⑥			

そう合の本数は、前週よりうわまって、スギナをのぞいてはみんなふえていたようでした。とくに、スベリヒユの畑の方は、45本から157本へと3倍多くなってきた。今週は晴れた日もあったし、雨がふった日もあったせいかもしれない。今週は中位のが多かった。

標本づくり

雑草の標本づくりをした。やり方は、「植物の採集と標本づくり」という本に書いてありました。

1. 標本をつくりたい植物をとった。
2. 根を水であらった。
3. 新聞紙をたくさん用意した。
4. 新聞紙を2つに折り、その間に植物をいれた。
5. 植物を入れた新聞紙の間に新聞紙を2~3まい入れた。
6. 下に板を置き、その上にさきほどの新聞紙をのせ、その上にまた板をのせ、さらにおもいを置いた。
7. 毎日、間に入れた新聞紙をとりがえた。これを1週間続けた。
8. このようにして1週間続けることにした。

8月5日

これまでとってきた雑草について事典でくわしく調べてみた。



ヨモギ

キク科で別名をモチグサ・カズガキヨモギといい8月10月ごろがさかんた。ヨモギの中まには、オオヨモギ・ニシヨモギなどがあり、草原・道・田川などにはえ、本州・四国・

九州などにはえる。たねは長さ約1.5mmで、毛にはえてない。葉は細長い円形で、長さが7~10cm、ははら8mmです。根は、地下のきが枝わかれして横にはってのび、ひげ根が多くでる。高さは50cm~700cmの物。と本には書いてあったが、ぼくのこつたヨモギは、せいせい葉の長さは3cm、ははらは4mmで、高さは30cmという小さいヨモギでした。



スギナ

ツクシが大きくなったのもので、根はしゅ根・そう根となっていて、とても長くとりときは葉にはとれない。横にはってのびてる。長さは30cm~40cmで根は、その長さと同じ位の長さだと書いてありましたがぼくの家でとれたのは長さがせいせい

い25cm位の小さい物です。



ハコベ

ナデシコ科で別名をミドリハコベともいい、中まはコハコベ・ウシハコベ・ミヤマハコベ・サワハコベなどがあり、草原・道・畑などにはえます。高さは15cm~30cmで、葉はたまご

形で長さが1.5cm~2.5cmで、先はとがっています。

花は枝のわかれめごとには小さい花が集まってさき、がくは5まい、花びらは5まいあり、おしべは5~10本あり、がくには毛があり、たねは、直径1.2~1.5mmで、3月~9月がさかりです。くきは地面にはい、根はひげ根で北海道・本州・四国・九州と日本中にはえています。ほくうちのは、本に書いてあったのより大きいのが多い。



アカザ

アカザ科で別名はなく、中まはシロザ・コアカザ・マルバアカザ・ハマアカザなどがあり、草原・道端などにはえ、高さは60cm~150cmです。

葉はたまご形で先がとががり、新しい芽が赤いものをアカザ、白い物をシロザという。くきはやわらかいが成長するとかたくなる。根は、主根・そこんで、主根は太く長い、それから多数の枝根が横に出ます。花は、花びらがなく、おしべ5本がある。はえる所は、

北海道・本州・四国・九州で、もとはヨーロッパ大陸からきて広がっていき、さかりは9月~10月です。と本に書いてあったが、ほくの家でとれたアカザは小さいのは1.5cm、大きいのは3.5cmといういちがうが1.5cmという小さいのが多い。また、ふつうのより大部ちがうことがわかる。



タネツケバナ

アブラナ科で別名はなく、高さは10cm~30cmで、中まはオオバタネツケバナで田にはえます。

葉は15まい~17まいつき、はばは1mm~6mmで、花はくきや枝の先に白い十字形の花に10こ~20こくきます。花びらは4まいで、花びらの長さは3mm~4mmで、

下のちから順にさき、たねモミををつけるころ花がさくので、タネツケバナという。果実はつの形の細長く長さが約2cmで、北海道・本州・四国・九州・朝鮮・

中国・台湾と広くはえているのでおどろいた。くはくの家でとれたタネツケババは15cmとしい位の
もので葉もあんまりついでしなかった。

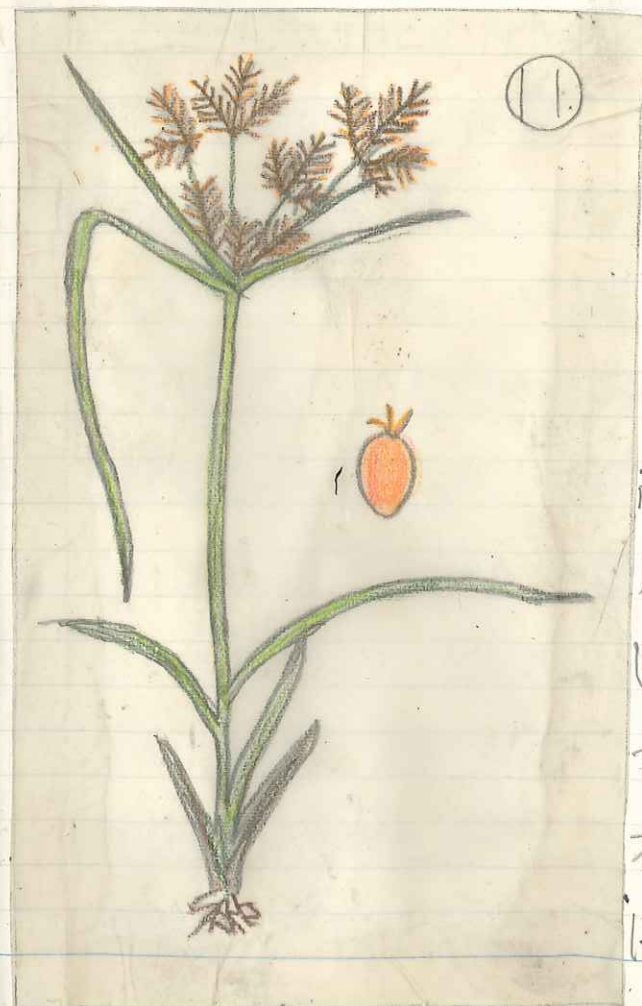


カタバミ

カタバミ科で別名をスイモノ
グサとしい、中まは、エゾ
タチカタバミとしい、田・池・
川などにはえ、長さ(くき)は、
30cmで4月~10月ごろがさ、
かりで、花は、黄色いちまいの
花びらで、かくらまい、おしべ

10本、めしべ1本があり、直径0.8cmで、数この花が
集まってさき、午後には、花がとしてしまいます。
葉は3まいの葉が1つになり、緑色のほかに、赤やう
すい赤の葉の品種がある。くきは、根もとから何本
も出て地面をはし、節から根が出て去がる。よく
枝ちかれして少し毛がある。根はせや太くまっすぐ
下にのびる。細い枝根がまばらに出てとりにくい。

果実は、円柱形で、長さ約2cmで熱すると2つに
けて、たまご形の横しわの多い種子を多数にはしき
とはします。はえている所は、本州・北海道・四国
九州・朝鮮・中国・台湾と広くはえています。はくの家
のカタバミは長さが15cm位の小さい物です。
また、広くアジア大陸までカタバミがはえているの
でおどろきました。



カヤツリグサ

カヤツリグサ科で別名はな
く、中まはチャカヤツリ・コ
ゴメカヤツリなどで、田・道
・草原などにはえています。
高さは20cm~50cmで、8
月~10月がさかりです。葉
は、せまい線形で先はとがっ
っていて、根もとにくき下部
から出ます。せわらかく、下
はせやでくきをたきます。

葉のははは2mm~5mmです。くきは、3角形のくきが1本または、2~3本でかぶになり、細いがかたく、もとには1まい~3まいの葉がつく。(緑色) 根は、ちやむらさき色でひげ根が多数出る。花は、黄色の花。ほがくきの先にカサのはね形に出たえの先に、約3こづつ集まってつく。花ほには少しまばらに小さいほがついている。小さいほは線形で、長さ7mm~12mmで、花は10こ~20こつきます。本州・四国・九州・朝鮮・中国にはえている。ほくの家でとれたカヤツリグサは、小さいのは5cm大きいのは35cmとだいたいちやむらさき色の小さいのが大部分でした。



エノコログサ
イネ科で、別名をネコジラシといい、中まは、アキ、エノコログサ・ハマエノコログサ・オオエノコログサ・ギンエノコログサ・イヌアワなどがあり、田・道・草原などに

にはえています。高さは、50cm~80cmで、8月~11月ごろがさかりです。葉は、長さ10cm~20cm、はは5mm~13mmで、両面とも毛がなく、先がとんがり、もとは急に細くなります。くきは細く、根もとはまがり、えたわかれして立ち上がり、節は太い。根はひげ根がたくさん出る。花は、くきの先に緑色で円柱形のほで、長さ3cm~6cmで、直径0.8cmで小ほは小花1こでたまご形で、長さ2cm~2.7cmで、小花はたまご形で、おしべ3本(黒色)です。果実の長さは、約0.2cmです。はえるところ、北海道・本州・四国・九州・世界のほとんど広いちいさにはえています。ほくの家でとれたエノコログサは、30cm(大)位の小さいエノコログサでした。また、エノコログサはものすごく広いちいさにはえているのには、ほんとうにもう、びっくりしたりおどろいたりしました。また、家でとれたエノコログサで小さいの10cm位の小さいほんにも小さいのでおどろいた。



⑬ コニシキソウ

トウダイグサ科で、別名はなく、中まは、ニシキソウで長さは20cm(地面をほう長さ)で、田・道・草原にはえます。さかりは、7月~10

月で、赤むらさき色のかね形の中は小花がさきます。葉は、長だ円形で先はまるく、表の中央にむらさき色のはん点があります。長さは5mm~10mm、はばは、2mm~4mmで全体に毛が多い。くきは、地面をはって四方に広がる。その長さは、約10cm~25cmで葉とともに毛があります。赤くて細いよくえだわかれして地面をおおいます。根は、細く、くきをきると白いにゆうえきが出ます。花は、花びらがない。果実は、長いえがあり、たまご形で毛があります。コニシキソウのはえる所は本州・四国・九州とあんなかい広いちいきです。ほくのうちのコニシキソウは、大きいので20cm、小さいので4cmといろいろと長さがちがう。

8月6日

採集した、雑草を主根と側根の組とひげ根の組に分けて表をつくってみました。

番号	植物名	主根と側根	ひげ根
①	ヨモギ		○
②	スギナ	○	
③	ハコベ	○	
④	不明 ①		○
⑤	アカザ	○	
⑥	不明 ②		○
⑦	タネツケバナ		○
⑧	不明 ③		○
⑨	不明 ④		○
⑩	カタバミ	○	○
⑪	カヤツリグサ		○
⑫	エノコログサ		○
⑬	コニシキソウ	○	○
⑭	不明 ⑤	○	
⑮	不明 ⑥		

8月17日

畑にも家の回りにもはえている雑草があるが、事典では、どこにはえる植物として出ているのか。ぼくがこれまでとってきた雑草について、原色採集地別野外植物検索図鑑田・畑の植物、原色採集地別野外植物検索図鑑道・庭の植物、原色採集地別野外植物検索図鑑草原の植物という3つの事典からひろって表にしてみました。

番号	植物名	道や庭	田や畑	草原
①	ヨモギ	○	○	○
②	スギナ	○		
③	ハコベ	○	○	○
⑤	アカザ	○	○	○
⑦	タネツケバナ		○	
⑩	カタバミ	○	○	○
⑪	カヤリグサ	○	○	○
⑫	エノコログサ	○	○	○
⑬	コニシギソウ	○	○	○

このことから地別によってちがう雑草が少なく、多いことがわかった。

8月9日

番号	植物名	畑(本)	家の回り(本)
①	ヨモギ	1	0
②	スギナ	6	23
③	ハコベ	0	0
④①	アカザ	17	55
⑤	アカザ	10	5
⑥②		5	27
⑦	タネツケバナ	0	0
⑧③		1	0
⑨④		0	0
⑩	カタバミ	0	0
⑪	カヤリグサ	0	0
⑫	エノコログサ	0	0
⑬	コニシギソウ	0	0
⑭⑤		0	0

そう合の本数は前週よりずっと少なくなった。前週多かったせいかもしれない、それに今週雨や

くもりの日が大部分だったせいかもしれない。とくに、スベリヒユなどは8分の1ほどにへってしまっている。今週とった雑草は小さいのが大部分でした。ユベリヒユのとった数の変化は急にへったり、ふえたりして安定していません。

8月10日

きょう、植物に名前をつけようという会があると聞いたので、これまでとってきた雑草のうち名前のおからなかった。5種類を持って児童文化センターに行った。いろいろな図鑑や事典でもわからなかった雑草を先生方は1目で教えてくれたのには、おどろきました。

不明①は、スベリヒユ

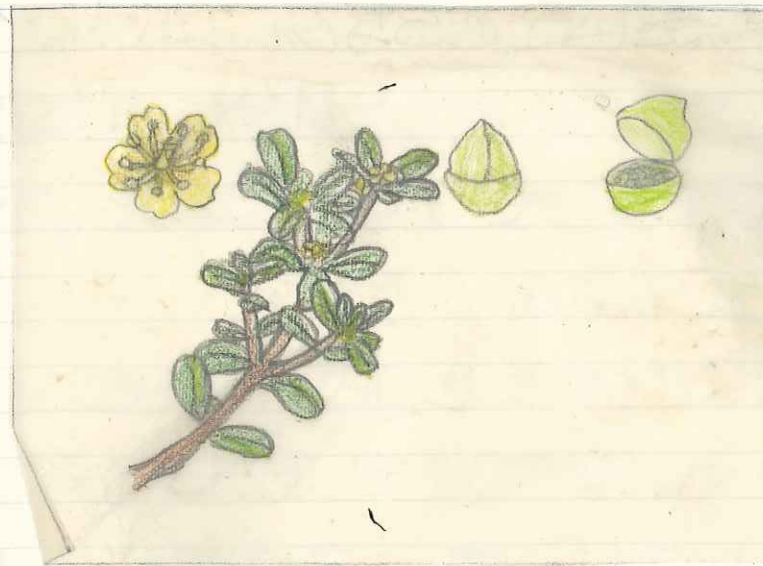
不明②は、オヒシバ

不明③は、ヒメムカシヨモギ

④は、メヒシバ

⑤は、オニノゲシ

ということがはつきしました。



スベリヒユ
スベリヒユ科で、別名をイハズルともいわれる所は、田道・草原などにはえ、3月～6月ごろなどがさかります。葉は、長だ円形

で先はまるく、もとはくさび形、長さは10mm～25mmで肉質、むらさきあか色です。くきは、枝分かれして、下部は地面にはいり、四ちに広がる。長さは15cm～30cmになる。根は、白くひげ根です。花は、枝の先に集まっている葉の中に3個～5個の花が集まってさきます。花びらは5まいで、たまご形で、さきがへこみ、長さは約4mm、おしべは、6本～10本、めしべは1本あります。長だ円形で長さは5mmあり、上半分かいたのようにつまみつぶれます。黒く長い柄のある種子が多数あります。はえる所は、北海道・本州・四国・九州・全世界に広くはえています。ぼくの家で

とれたスベリヒユは、大きいので35cm、小さいのは5cmというようにだいぶちがいます。またスベリヒユのはとれやすく、大きいのはなると、なかなかとれません。



オヒシバ

イネ科で、別名をチカラグサといい、高さは30cm〜60cmで、中まはギョウギシバなどがあり、さかりは8月〜10月ごろです。はえている所は、田・道・草原です。葉は、線形で、長さは6cm〜12cmで、はばは5mm〜10mmで、うすい緑色をしていて、毛がはえています。また、さやはやや長く、

毛ははえています。くきは、根もとから枝わかれしています。根は、節から根を出して四方に広がります。

す。花は、くきの先に花ほが4本〜10本あり、かたのほが形に集まってさき、小ほが、軸に2個ずつ2列についています。軸はごらつき、小ほはた円形で、長さが1.5cm〜2cmで、1個の小花だけつづ。はえる所は、北海道・本州・四国・九州・朝鮮・中国と広いはんにこはえています。ほくの家でとれたオヒシバは小さいのは4cmで、大きいのは35cmで、大部分が6cm位の小さいオヒシバです。



ヒメムカシヨモギ

キク科で、別名をテッドウグサ・メイジノウで、高さは、50cm〜150cmで、中まは、アレチノギク・オオアレチノギク・ヒメジヨオン・ハルシオン・ヤナギバヒメジヨオンなどがあり、田・畑・草原

などにはえます。さかりは8月〜10月ごろで、白い花の長さは2.5mm〜4mmです。葉は、線形で、長さ約10cm、はば5mm〜7mmで、くきとく

ものに黄緑色で、立ったものがあります。くきは、白く太く、上の方で枝分かれして立ったものはえています。根は、やや太い主根が深く伸び、それから細かいひげ根がたくさん出ます。花は、小さい頭花が花が集まってさきます。かね形で長さ25mm~4mmです。果実は、風にふかれて飛んでふえます。北アメリカからたねが日本にきてふえました。はじめ、本にかいてあったのが大きくなったのを知らなかったが、児童文化センターに行ったらはじめてわかりました。



メヒシバ

イネ科で、別名はなく、高さは30cm~90cmで、中まはアキメヒシバ・コメヒシバなどがあります。はえる所は、田・畑・道・草原で、7月~10月ごろがさかりです。葉は線形で、はば5mm~10mmで、長さ15cm~20cmで、

ややわかく、さやは長い。くきは、何本もかたまって大きいかたまりになります。根は、ややわかく太い、ひげ根がたくさん出ます。花は、緑色の小ほが2列にならびます。小ほは小花にて、はばは、約3mmで、下部の枝の長さは、約5cmで、細かいはえい果が実る。はえる所は、北海道・本州・四国・九州・朝鮮とアジア大陸までおよんでいます。ほくの家でとったメヒシバは小さいのは15cm、大きいのは35cmと3つものよりは小さい物でございます。



オニノゲシ

キク科で、別名はなく、高さは60cm~100cmで、中まは、ノゲシ・ハチジョウナなどがあります。はえる所は草原・道で、5月~10月ごろがさかりです。葉はもとのちがとがった耳形に

なつてくきをたぎります。くきは 切る白いにゆえ
 きが出る。上部で枝分かれする。地下くきは出な
 い。花は くきや枝の先に、舌状花ばかりの頭花
 が、セヤカサのほねの形に集まってさきます。果実
 は、長さ約3mmあり、横すじがありざらつき、
 白い長さ6mmの冠毛があります。はえる所は、北
 海道・本州・四国・九州・朝鮮・中国・台湾という広
 い地いきにはえています。ほくの家でとったオ
 ニノゲシは8cmという小さいものです。

場所にどんな雑草があるか、表をつくりました。

番号	植 物 名	田や畑	庭や道	草 原
④	スベリヒユ	○	○	○
⑥	オヒシバ	○	○	○
⑧	ヒメムカシヨモギ	○	○	○
⑨	メヒシバ	○	○	○
⑭	オニノゲシ			○

このことから前回と同じようにどこにでもはえる
 雑草が多いのに気づいた。

わからなかった雑草を、主根と側根の組とひげ
 根の組に分けて表に書いてみました。

番号	植 物 名	主根と側根	ひげ 根
④	スベリヒユ		○
⑥	オヒシバ		○
⑧	ヒメムカシヨモギ	○	
⑨	メヒシバ		○
⑭	オニノゲシ		○

このことからひげ根が多いことがわかります。

8月16日

番号	植 物 名	畑 (本)	家の回り(本)
①	ヨモギ	0	0
②	スギナ	10	33
③	ハコベ	0	0
④	スベリヒユ	62	289
⑤	アカザ	2	10
⑥	オヒシバ	14	91
⑦	タネツケバナ	0	2

⑧	ヒメムカシヨモギ	0	10
⑨	メヒシバ	0	5
⑩	カタバミ	0	15
⑪	カヤツリグサ	0	0
⑫	エノコログサ	0	0
⑬	コニシキリウ	0	5
⑭	オニノゲシ	3	5

その場合の本数も、種類別の本数も前週より増えています。特にスベリヒユは約5倍になりました。しかし、スベリヒユも、7月12日や7月19日ごろの本数より、だいぶ少なくなってきました。また、スベリヒユに変わってヒメムカシヨモギやオニノゲシなどがふえてきたようです。今週は晴れの日が多く、雨の日もあった週なので雑草が育つにはよっても育ちやすい週だったと思います。今週は5cm～15cm位の小さいのが中位のが大部分で、2～3本、オヒシバやメヒシバの大きいのがあったけでした。

標本——8月4日から毎日新聞紙をかえていたのも、完全に水分がなくなったようなので紙にはった。はば4mm、長さ2.5cmにセロハンテープをセロハンテープにのせた雑草を、セロハンテープをはいつけ数をできるだけ少なく、しっかりとおさえ、はば2cm、長さ3cmに切った紙に、年月日、場所、植物名を書き、画用紙にはいつけました。順番どおりに紙をかさね、その上に題を書いた表紙をのせて、色をそめてにじました。

8月23日

番号	植 物 名	畑 (本)	家の回り (本)
①	ヨモギ	0	1
②	スギナ	6	4
③	ハコベ	8	2
④	スベリヒユ	107	127
⑤	アカザ	0	12
⑥	オヒシバ	16	179

⑦	タネツケバナ	0	0
⑧	ヒメムカシヨモギ	1	7
⑨	メヒシバ	0	0
⑩	カタバミ	0	35
⑪	カヤツリグサ	0	1
⑫	エノコログサ	0	1
⑬	コニシキリウ	0	4
⑭	オニノゲシ	3	22

そう合の数の本数の種類の本数も、地面には
 って育つ雑草のほかは、少なくなってきました。
 す。今週も、前週のように晴れの日が続き、雨
 の日もあった週ですが、本数は、前週より少し
 少なくなっています。これは、今まで半分以上
 をしめていたスベリヒユなどの雑草のさかん
 にはえる季節が過ぎてきたためだと思います。
 今週、家の回りや畑にはえた雑草は両方とも
 前週と同じように小さいのは5cm~8cmのが
 大部分で、時たま30cm~40cmのオヒシバや

メヒシバがとれるだけでした。

8月30日

番号	植 物 名	畑 (本)	家の回り(本)
①	ヨモギ	0	1
②	スギナ	6	16
③	ハコベ	1	0
④	スベリヒユ	73	412
⑤	アカザ	1	11
⑥	オヒシバ	12	82
⑦	タネツケバナ	0	0
⑧	ヒメムカシヨモギ	10	3
⑨	メヒシバ	0	0
⑩	カタバミ	0	18
⑪	カヤツリグサ	0	4
⑫	エノコログサ	1	0
⑬	コニシキリウ	1	15
⑭	オニノゲシ	4	18

そう合の本数も種類別の本数も2~3種類をの

ぞいてはふえているようです。特に スベリヒユ
などは前週の234本から485本へと2倍に
ふえています。それに、今週は、前週のように
に晴れの日が続き、雨の日もあったので、雑
草にとってはすごしやすい週だったと思いま
す。今週にとれた雑草の長さは小さい2cm~
3cmと前週より小さく、中位のは、10cm~15cm
で、オヒシバやメヒシバなどの大きい物は、
30cm~35cmと、前週より少し小さく、小さい
のや中位の物が大部分の雑草でした。

9月6日

番号	植 物 名	畑 (本)	家の回り(本)
①	ヨモギ	0	1
②	スギナ	2	0
③	ハコベ	1	0
④	スベリヒユ	13	116
⑤	アカザ	7	5
⑥	オヒシバ	6	23

⑦	タネツケバナ	0	0
⑧	ヒメムカシヨモギ	0	0
⑨	メヒシバ	2	5
⑩	カタバミ	9	3
⑪	カヤツリグサ	22	5
⑫	エノコログサ	0	0
⑬	コニシキソウ	0	6
⑭	オニノゲシ	4	5

そう合の本数も種類別の本数の畑、家の回りも
スベリヒユをのぞいては、前週よりふえてい
ます。特にカヤツリ草は前週の4本から、今
週は27本と約7倍もふえていまいいます。し
かし、逆に前週の485本から、今週は、12
9本へと、約4分の1にへりました。完全にス
ベリヒユはへってきたことが、あります。そし
て、そのかわりに冬の寒い時期にはえる、オニ
ノゲシやコニシキソウなどが多くなってきま
した。そのせいか、今週は、前週までとちが

って、くもりや雨の日が大部分でした。今週にれた雑草は、5cm~8cmの中位のものか、3cm~4cmの物が全部でした。

9月13日

番号	植 物 名	畑 (本)	家の回り(本)
①	ヨモギ	2	0
②	スギナ	0	23
③	ハコベ	8	0
④	スベリヒユ	18	159
⑤	アカザ	0	17
⑥	オヒシバ	3	33
⑦	タケツクバナ	1	0
⑧	ヒメムカシヨモギ	2	2
⑨	メヒシバ	5	0
⑩	カタバミ	3	0
⑪	カヤツリグサ	5	30
⑫	エノコログサ	0	0
⑬	コニシキノウ	1	23

⑭ オニノゲシ

そう合の本数も、種類別の本数も、畑、家の回りにもに両方とも前週よりふえていきます。しかし、前週のようにたくさんふえたのではなく、2本~5本ずつふえています。今週も、前週と同じように、くもりの日や雨の日が大部分でした。今週にれた雑草は、小さい物は2cm~3cmで、中位の物は5cm~8cmで、30cm~35cmの大きいオヒシバやヒメムカシヨモギが3本あった。きりて、大部分の雑草が2cm~3cmの小さいか、5cm~8cmの中位の物でした。

9月20日

番号	植 物 名	畑 (本)	家の回り(本)
①	ヨモギ	0	6
②	スギナ	0	28
③	ハコベ	0	0
④	スベリヒユ	0	12

⑤	ア カ サ	1	0
⑥	オ ヒ シ バ	0	6
⑦	タゲツケバナ	0	0
⑧	ヒメムカシヨモギ	0	6
⑨	メ ヒ シ バ	0	0
⑩	カタバミ	1	1
⑪	カヤリリグサ	0	5
⑫	エノコログサ	0	0
⑬	ユニシキソウ	0	13
⑭	オニノゲシ	1	8

そう合の本数も、種類別の本数も、畑・家の回りともに、両方とも前週にくらべて、少なくなりました。そして、天気の方も、前週と同じく、くもりの日や、雨の日が大部分でした。そして、一番おどろいたことは畑の方の本数が、タゲツケバナ・カタバミ・オニノゲシの3種類の3本だけということでした。このことからでもわかるように、だいぶ、本数が

が少ないということです。また、特にへった雑草は、スベリヒユは、前週の129本〜12本と約11分1まで少なくなっています。またカヤリリグサは前週の35本から、今週は、5本と7分の1にへっています。また、また、最近ふえてきた、寒さに強いオニノゲシも、前週の12本から、今週は9本と約3分の2にへりました。今週とった雑草は、小さい物は2cm〜3cmの雑草で、中位の雑草5cm〜8cmの雑草で、30cm〜38cmの大きい、オヒシバや、メヒシバや、ヒメムカシヨモギや、カタバミの大きい雑草が5本あったきりで、大部分の雑草が、小さい雑草は2cm〜3cmで、中位の雑草は5cm〜8cmの雑草でした。

9月27日

番号	植 物 名	畑 (本)	家の回り (本)
①	ヨモギ	0	2
②	スギナ	2	28

③	ハコバ	1	2
④	スベリヒユ	0	11
⑤	アカガ	0	2
⑥	オヒシバ	3	4
⑦	タケツケバナ	0	0
⑧	ヒメムカシヨモギ	4	81
⑨	メヒシバ	0	0
⑩	カタバミ	0	3
⑪	カヤツリグサ	0	8
⑫	エノコログサ	0	0
⑬	コニシキソウ	0	18
⑭	オニノゲシ	1	6

そう合の本数も、種類別の本数も、スギナ、ヒメムカシヨモギ、コニシキソウ、カヤツリグサ、カタバミなどのぞいては、前週より、雑草の本数がへりました。しかし、今週の天気は雨の日があり、晴れの日が続いて、植物にとってはすごしやすい週だったと思います。また、

今週ふえた雑草は、地面にはって育つ雑草ばかりでした。その中で、特にふえた雑草は、ヒメムカシヨモギで、前週の6本から、今週は、85本と14倍にふえたのには、まったくおどろきました。また、ほかの雑草は夏のころのようになくさんはいなくなり、今では、1本〜10本位になりました。今週とれた雑草は、小さいのは、長さ5cm〜5.5cmで、中位の雑草は、5.5cm〜7cmで、大きい雑草は、カタバミ・オニノゲシなどの雑草で4本しかありませんでした。今週とれた雑草は、小さいのが中位のが、大部でした。また、このごろ、ぼくは雑草をとるのがかわいそうになってきました。

きょう 雑草の

きょう 雑草のいい詩があったので次のページに書いてみました。

北三河無名草

オニノゲシ

オニノゲシ

オニノゲシ

オニノゲシ

オニノゲシ

オニノゲシ

オニノゲシ

オニノゲシ

オニノゲシ

オニノゲシ

オニノゲシ

オニノゲシ

オニノゲシ

オニノゲシ

オニノゲシ

オニノゲシ

10月5日

番号	植物名	畑 (本)	家の回り (本)
①	オニノゲシ	0	0
②	スギナ	0	1
③	ハコベ	0	1
④	スベリヒユ	0	11
⑤	アカザ	0	1
⑥	オヒシバ	3	0
⑦	タケツケバサ	0	0
⑧	ヒメムカシヨモギ	5	0
⑨	メヒシバ	2	0
⑩	カタバミ	0	0
⑪	カヤリクサ	0	0
⑫	エノコログサ	0	0
⑬	コニシキリヤ	0	3
⑭	オニノゲシ	0	9

その合の雑草の本数も、種類別の本も、メヒシバ、オニノゲシをのぞいては、畑、家の回りともに

両方とも、雑草がへっぺしています。また、ふえたといっても、たった2本だけふえただけです。へった中で、もっともへったのは、ヒメムカシヨモギで、前週の85本から今週は5本と17分の1にへっぺしています。今週は、くもりの日と晴の日が大部分でした。

今週とれた雑草は、小さい雑草は3cm~4cmで、中位の雑草は、5cm~6cmと小さい雑草で、大きい雑草は、20cm~25cmの雑草で、カタバミやヒメムカシヨモギなどの雑草で、今週の雑草は、小さい雑草は3cm~4cmで、中位の雑草は5cm~6cmのが大部分でした。

10月6日

きょう、家の回りや畑を見て、地面にはう雑草が多く。葉の先から葉の先までの長さが2cm~3cmの小さい雑草が多く。ほかの雑草は2~3本しか見られなかった。これから

このようだと思うので、雑草取りは終わりにした。

10月10日

これまで、採集した、植物の本数をそのまま記録していたが、これではひかくにならないと同じだと思ったので、同じつぼ数(2つぼにして、畑と家の回りの雑草の採集した本数のひかくを試してみることにしました。ひかくしたまゝ数が多いので、グラフだけをして、それを見て感じたことをノートに書くことにした。

① ヨモギ

- 家の回りの方が畑より本数が多かった日が2日あったが、その合の本数では畑の方が多かった。
- 畑の方の本数の多い週は、家の回りではそれより本数が少なかった。
- 畑の方で1番本数の多かった日は8月4日で、家の回りは9月20日でした。
- 寒くなるに、家の回り、畑ともにへることがわかった。

② スギナ

- 9月13日、9月20日をのぞいては、全週、家の回りより、畑の方が本数が多かった。
- その合の本数が家の回りより、畑の方がずいぶんたくさんあることがわかった。
- 9月13日、9月20日の2週間をのぞいては、

の本数が上がると、家の回りの本数も上がった。

- 家の回りの方は、はえる本数が、安定していましたが、畑の方は、急にたくさんへったり、ふえたりして家の回りのように安定していないことがわかった。
- くもりや雨の日の続いた週は、畑、家の回りともに本数がへり、また、晴れの日が続き、雨の日もあった週は、本数が増えることがわかった。
- 1番本数が多かった日は、畑の方は7月5日で、家の回りの方は、7月5日と同じ日であることがわかった。
- 寒くなるにだんだん本数が少なくなり、あ
- つい夏は本数が多

③ ハコベ

- 7月19日をのぞいては、みんなどの週も、家の回りより畑の方が本数が多いことがわかった。
- そう合の本数も、家の回りより畑の方が多いことがわかった。
- 7月19日をのぞいては、畑の方の本数が上がると、家の回りの方の本数も上がるということがわかった。
- 家の回りの方は、6月28日、7月19日、8月23日、9月27日をのぞいては、みんなどの週も、1本もハコベがないということがわかった。このことから、ハコベの数はたいてい少ないということがわかる。
- 畑の方は、本数が、家の回りのように安定していない。急に、たくさん本数が減ったり、ふえたりして安定していないことがわかった。

- 畑の方で、1番本数が多かった日は6月28日で、家の回りの方で、1番本数が多かった日は、7月19日でした。

④ スベリヒコ

- 7月12日、7月19日、9月20日、9月27日をのぞいては、みんなどの週も、畑の方が本数が多いことがわかった。
- そう合の本数も、家の回りの方より、畑の方がずっと多いことがわかった。
- 7月5日、7月12日、7月19日、8月23日の4週間をのぞいては、畑の方の本数が上がると、家の回りの方の本数も上がるということがわかった。
- 畑の方も、家の回りの方も、本数がいつも安定していないことがわかった。
- 畑の方で、1番多くスベリヒコがとれた日は、6月28日で、家の回りの方で、1番多

く、スベリヒユのとれた日は7月9日で、家の回り畑が、同じ週に多いとは決まっていなかった。

- 。 10月ごろなどになると、だんだんスベリヒユの本数が少なくなっていくのがわかった。
- 。 むづい時期に多くはえる。

⑤ アカサ

- 。 8月23日、9月13日、9月27日、10月5日の4週間をのぞいては、みなどの週も家の回りのちより畑の方が、本数が多いことがわかる。
- 。 そう場合、アカサの本数も、ずっと家の回りより、畑の方が本数が多いことがわかった。
- 。 スベリヒユや、ハコベなどと同じく、ヨモギのよつに、かならずしも畑の方のアカ

サの本数が高くなる、家の回りの方のアカサの本数も高くなるということがない週があることがわかった。

- 。 畑の方も、家の回りの方も、アカサのとれた本数が安定していないことがわかった。
- 。 アカサが、畑で、一番多くとれた日は6月28日、家の回りでは、一番多くとれた日は8月4日で、その間は、35日間あることがわかった。
- 。 アカサは7月から8月ごろにかけてが1番たくさんにはえるということがわかった。

⑥ オヒシバ

- 。 9月26日をのぞいては、みなどの週も、家の回りのちより、畑の方が、本数が多いことがわかった。

- 。 場合の本数も、畑の方がずっと多いことがわかった。
- 。 畑の方の本数が上がると、家の回りの方の本数もあがるという週がある週と、ない週があった。
- 。 畑の方も、家の回りの方も、とれた本数が急にへったり、ふえたりして安定していないことがわかった。
- 。 オヒシバは、6月すえごろから8月の初めごろが1番さかんにはえることがわかった。
- 。 畑の方で、1番多くはえた日は8月4日で、家の回りの方は、7月12日、7月19日で、その間は14日間あった。

⑦ タネツケバナ

- 。 8月16日、9月27日のほかの週は、家の回りより、畑の方が本数が、同じ日か、それより多い日があった。
- 。 場合の本数も畑の方が、ずっと多いことがわかった。
- 。 畑の方の本数が上がると、家の回りの本数も上がるという週がある週とない週があった。
- 。 畑の方も家の回りの方も、とれる本数がたいたい安定していることがわかった。
- 。 6月28日からぐんぐんへって、7月19日には1本もとれない週もあった。

⑧ ヒナムカシヨモギ

- 7月19日、8月16日、9月20日の3週をのぞいてはみな畑の方が本数が多かったし、そう合の本数でも畑の方が多いことがわかった。
- 畑の方の本数が上がると、家の回りの本数もあがる週となし週があることがわかった。
- 畑でとれる本数は、急にふえたりへったりして、安定してしなかったが、家の回りの方は、とれる本数はだいたい決まってい安定しているようでした。

⑨ メヒシバ

- 7月12日、7月26日、9月6日の3週間をのぞいては、みなどの週も畑の方が本数が多かったし、そう合の本数でも畑の方が多いことがわかった。
- 畑の方の本数が上がると、家の回りの本数もあがる週とあがらなし週があることがわかった。
- 畑でとれた本数は、急にふえたりへったりして安定していないが、家の回りの方は安定している。
- 6月28日から7月5日にかわつたらぐうんとへって少しかはえなくなった(畑)

⑩ カタバニ

- 。畑の方が、家の回りの方より本数が多いい日
が2日あった。
- 。畑の方の本数が上がると、家の回りの本数
も上がるという週がある週となし週があっ
た。
- 。畑の方でとれた本数は、急にふえたり、入っ
たりしたが、家の回りでとれた本数は、だ
いたい安定している。

⑪ カヤリリグサ

- 9月6日、9月13日の2週間をのぞいた週は
みな家の回りの方が本数の多い日だった。
- 9月13日、9月27日のほかの週は、畑の方の本
数が多いと家の回りも本数が多くなる日だっ
た。
- 畑の方は、9月6日、9月13日、9月20日をのぞ
いた週はぜんぶ1本もとれない週だった。
- 家の回りの方は数は少ないが、2週をのぞい
た全部の週は1本ははえていた週でした。

② エノコログサ

- 。家の回りが、畑より本数が多い日が1日あったが、その場合の本数では畑の方が多かった。
- 。8月4日、8月23日、8月30日をのぞいてはみなどの週も1本もエノコログサがとれない日でした。
- 。畑 家の回りともにとれた本数が安定した。

- 。エノコログサは、ないうと同じ位、少しか家の回りにも、畑にもはえていないことがわかった。

③ コニシキソウ

- 。家の回りが、畑より本数の多い日が1日多かったが、その場合の本数では畑の方が少し多かった。
- 。畑、家の回りともにとれたコニシキソウの本数が安定しているのがわかった。
- 。6月、7月ごろには1本も見られなかった。8月にはいつてはじめて姿を見せたが、本数が非常に少なかった。
- 。コニシキソウも、エノコログサのようにほんの少ししかはえないことがわかった。
- 。家の回りの方は、8月9日、8月16日をのぞいてはみなどの週も1本以上はえていたが、畑の方は8月4日、8月30日、9月13日のほかには1本もコニシキソウははえていないことがわかった。

④ オニノゲシ

- 8月4日、10月5日の2週間をのぞいては、畑の方が、みなとの週も本数が多いいことがわかった。
- そう合の本数も畑の方が、ずっと多いことがわかった。
- 畑の方は、急に本数がへったり、ふえたりして、安定していないが家の回りの本数は、だいた安定していることがわかった。
- エノコログサ、カヤツリグサ、コニシキリウと同じように、8月になって初めて、姿を見せた。

以上のように、どの雑草をみても、畑より家の回りの方が本数が少ないことがわかった。それで、「総数で同じ坪数について比較してみるとさらによくわかる」と思い、ほうぐらフにあらわしてみた。

その結果、次のようなことがわかった。

- 9月20日、9月27日のほかの週に比べた雑草(総数)はみな、畑が家の回りより多い。また雑草をそう合した本数も、畑の方が家の回り多いことが確かに考えていたようになっていた。
- 畑の方の本数が多くなったから、家の回りの本数も多くなった。というふうになり、なった週と変わらない週になったのも考えていたようになっていた。
- 畑も、家の回りも、急に、本数が、ふえたり、へったりして、両方ともに、とれる本

数が安定していない。

- 9月の末ごろから寒くなってきたせいかわ、雑草の本数が、だんだん少なくなってきた。

- 今までいくつか例があったように、1番最初が1番本数が多かった。

- 雑草の種類によって、生える時期がちがう物がある。例えば、タネツケバナ、ヒメムカシヨモギ、アカガ、メヒシバは、6月ごろに非常に多く見られたが、その後だんだんへっているのに、コニシギソウ、エノコロクサ、カヤツリソブサ、オニノゲシは、8月に入って初めて生えている。また、スベリヒユは、7月中旬から8月中旬の水分と日光の十分にあった週は、成長が見立った。

まとめ

1. 家の回りに比べて、畑の方が雑草が比較にならないほどはえる。
2. 1週間おきに、かまで根を残さないようにほりつけたのに、よく生えた。
3. 雑草の種類によって、生える時期がちがう物がある。例えば、タネツケバナ、ヒメムカシヨモギ、アカガ、メヒシバは、6月ごろに非常に多く見られたが、その後だんだんへっているのに、コニシギソウ、エノコロクサ、カヤツリソブサ、オニノゲシは、8月に入って初めて生えている。また、スベリヒユは、7月中旬から8月中旬の水分と日光の十分にあった週は、成長が見立った。
4. 9月下旬から気温の低い日が続いたら、ほとんどの雑草の成長はとまってしまった。

- 5、 雑草は、砂地でも土でもほとんど同じ種類がはえていた。
- 6、 他の植物と同じように、気温、水分のちがいに、成長の度合がちがう。
- 7、 ひげ根の雑草が多く、主根と側根の雑草が多かった。
- 8、 かんそうした土よりも、雨上がりの土の方が非常にぬけやすく、かまを使わなくとも、よくぬけたが、晴の日が続いた週は、かまを使わないと、根が全然ぬけなかった。
- 9、 予想していたように、家の回りの方が雑草が少なかったが、特に、人が歩いて固められた、地面にはほとんど生えなかった。
- 10、 花も咲かず、実も結ばないうちに、ぬきとったのに、毎週、毎週よく生えたものだと思った。

- 11、 日かげ、日なたなどによって、生えた雑草の種類が少しちがっていた。
- 12、 10月に入って、今までに見られなかった地面にはつような形の植物が出てきた。

参 考 図 書

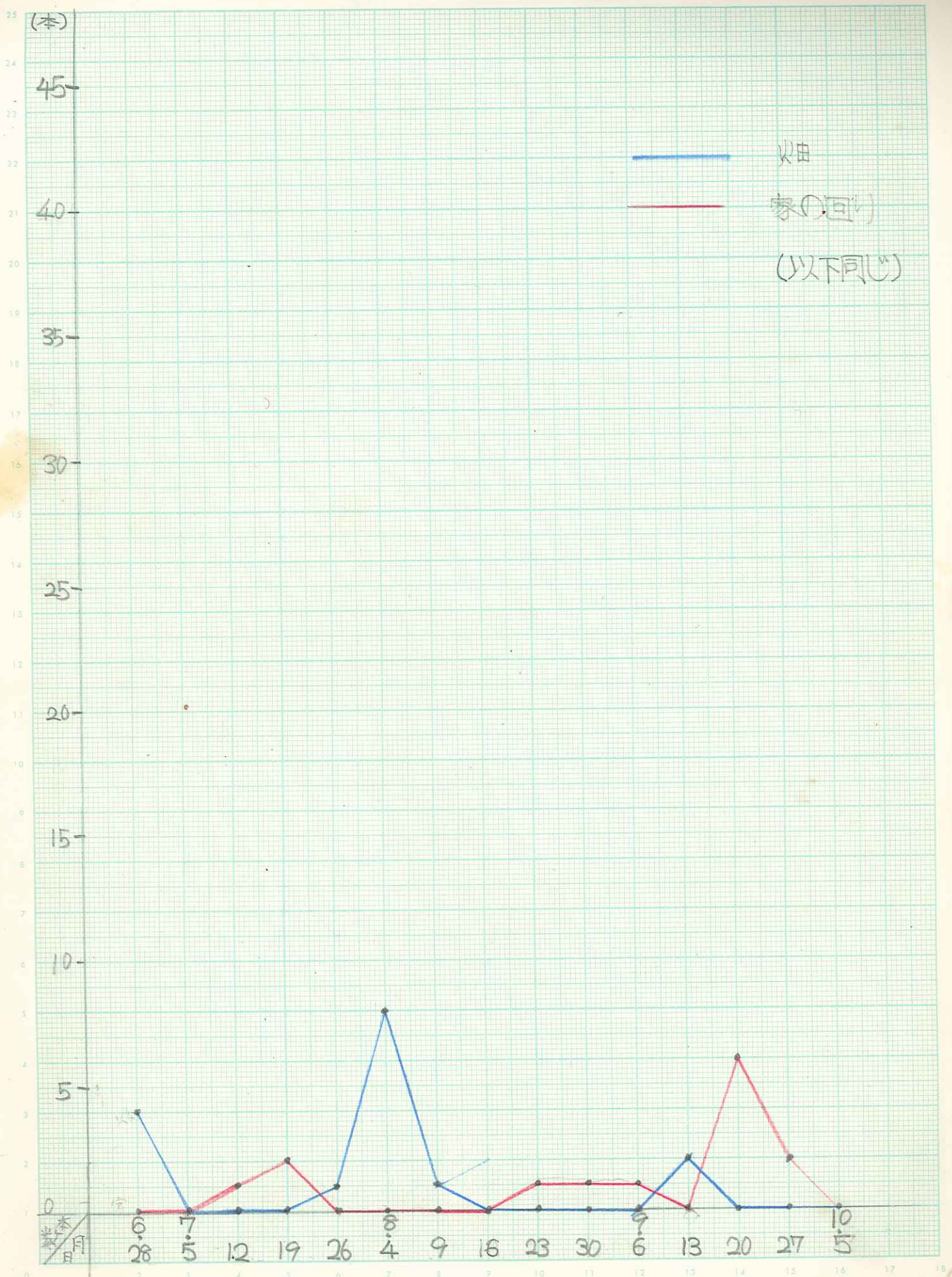
- 原色採集地別野外検索図鑑道庭の植物
- 原色採集地別野外検索図鑑草原の植物
- 原色採集地別野外検索図鑑田・畑の植物
- 植物の採集と標本作り

雑草の採集本数の比較

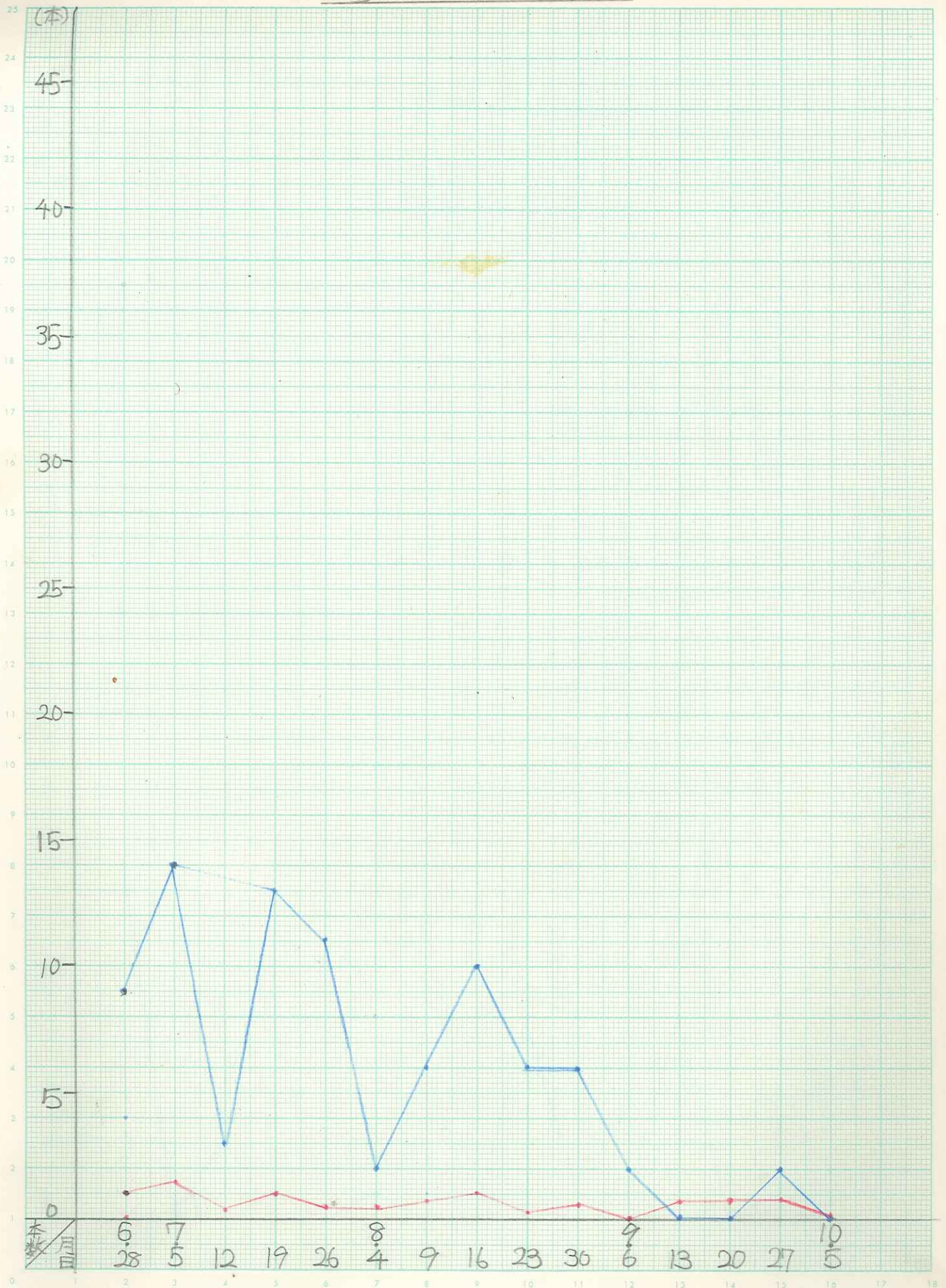
六年三組

荒井正志

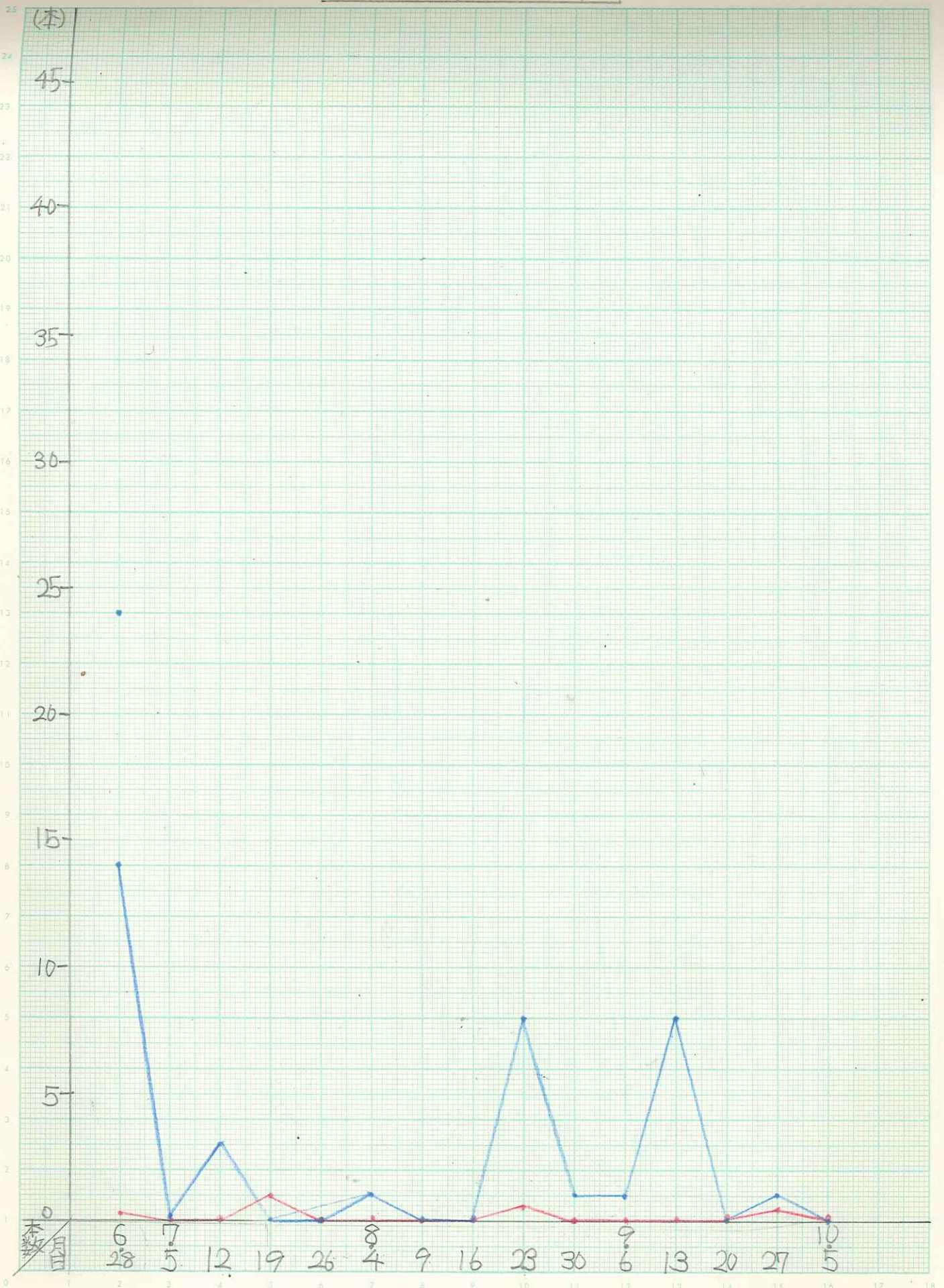
①ヨモギ



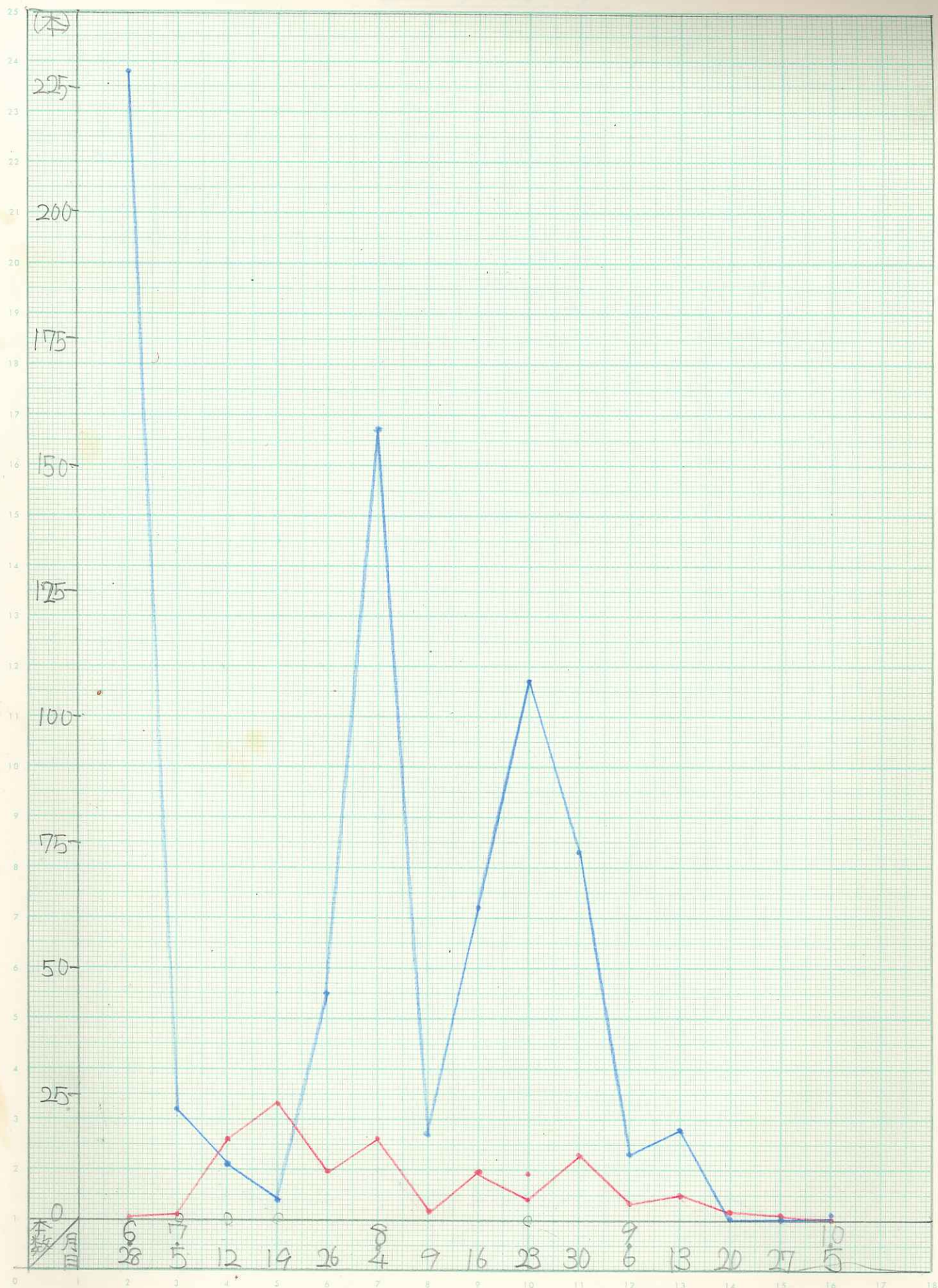
② スギナ



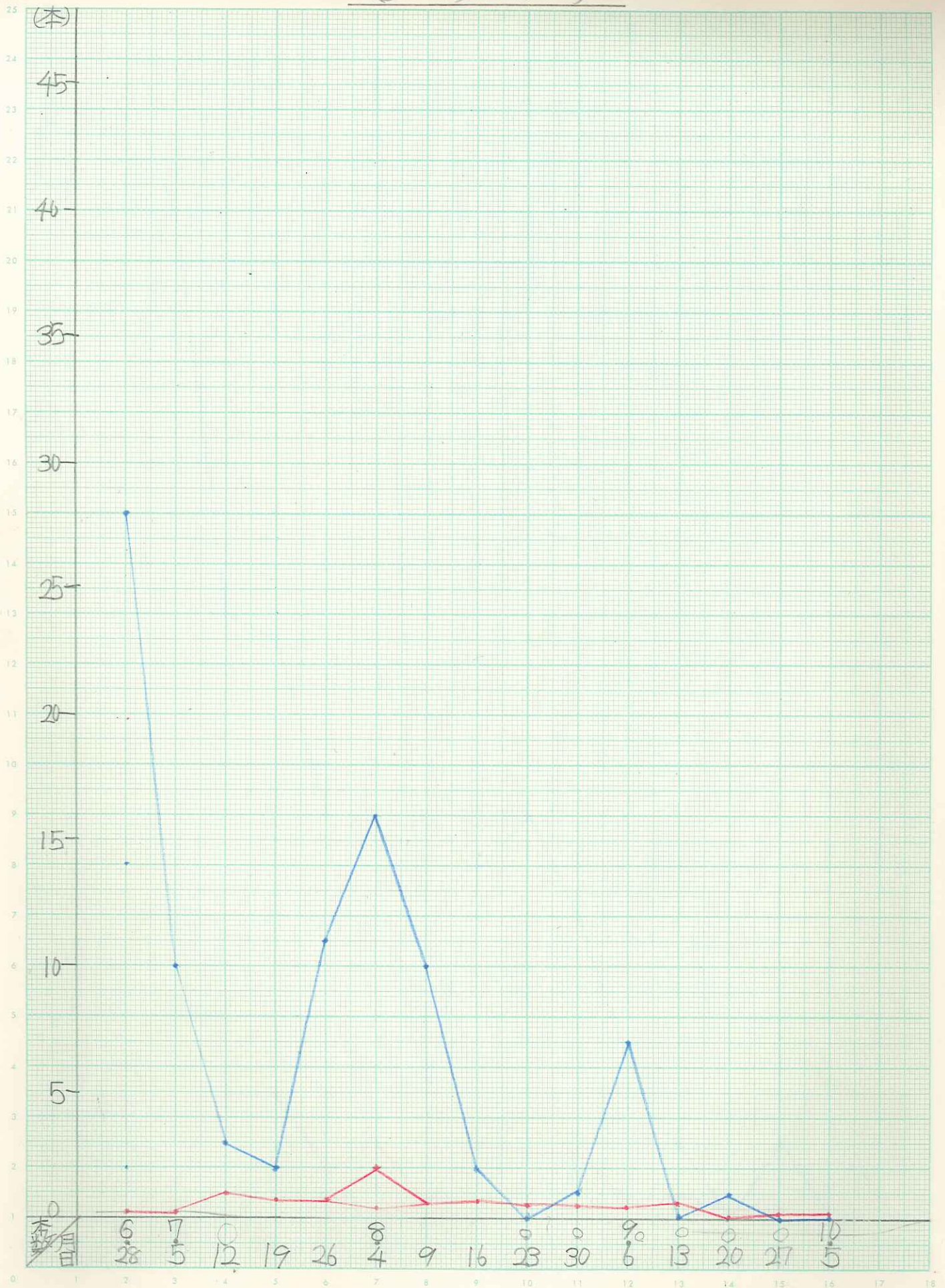
③ ハコヅメ



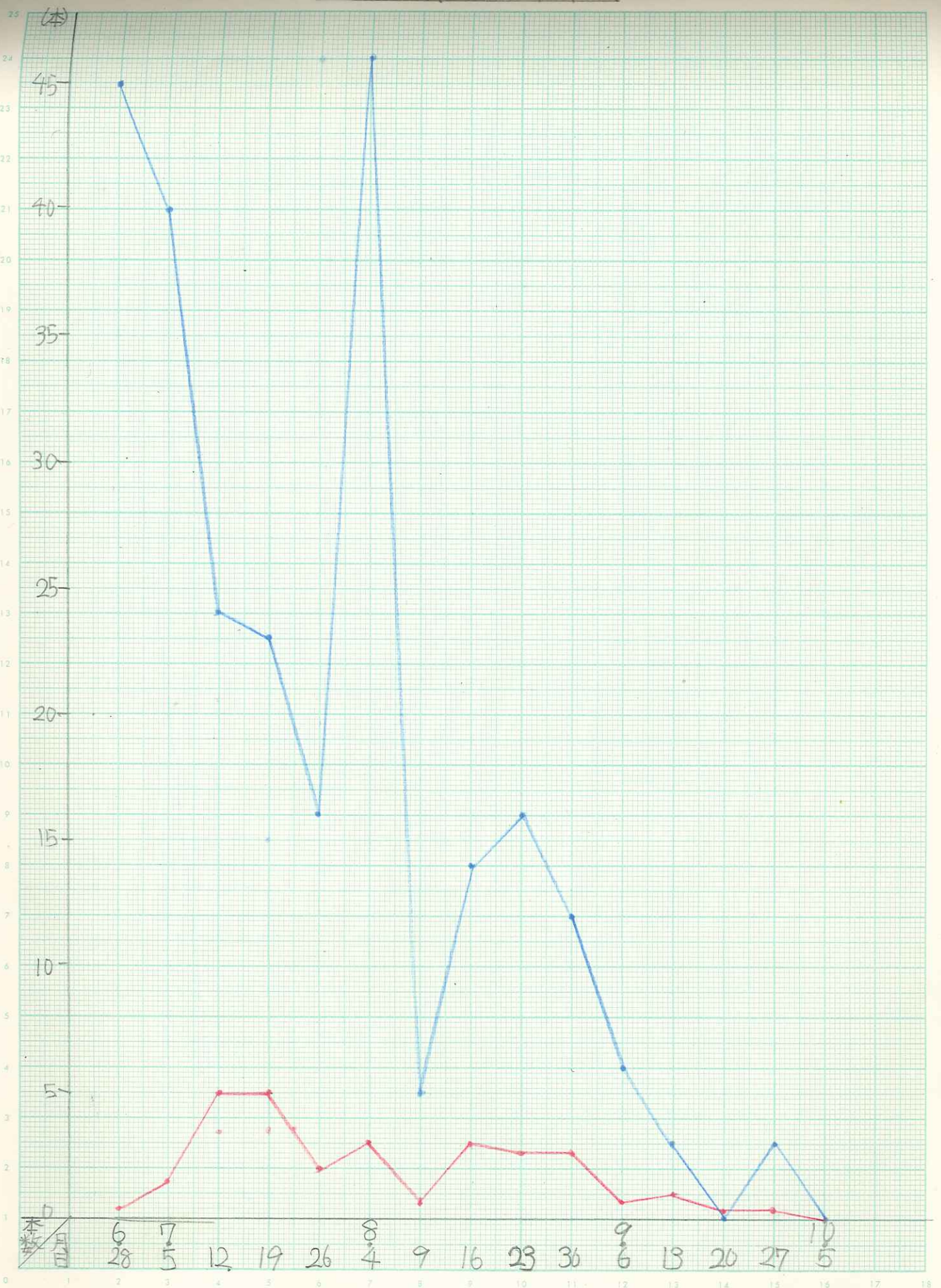
④ スベリヒエ



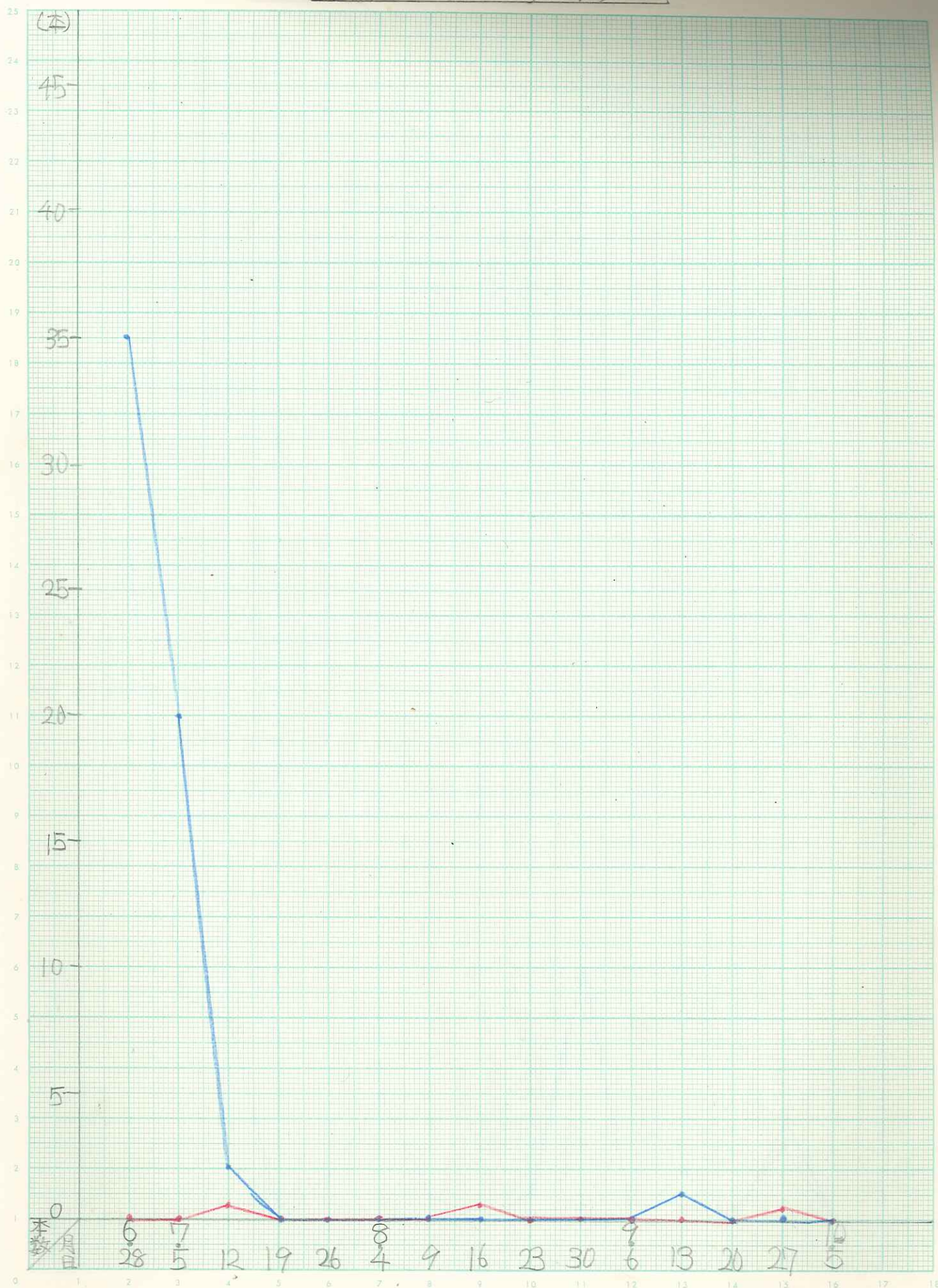
⑤ アカザⁿ



⑥ オヒシバ



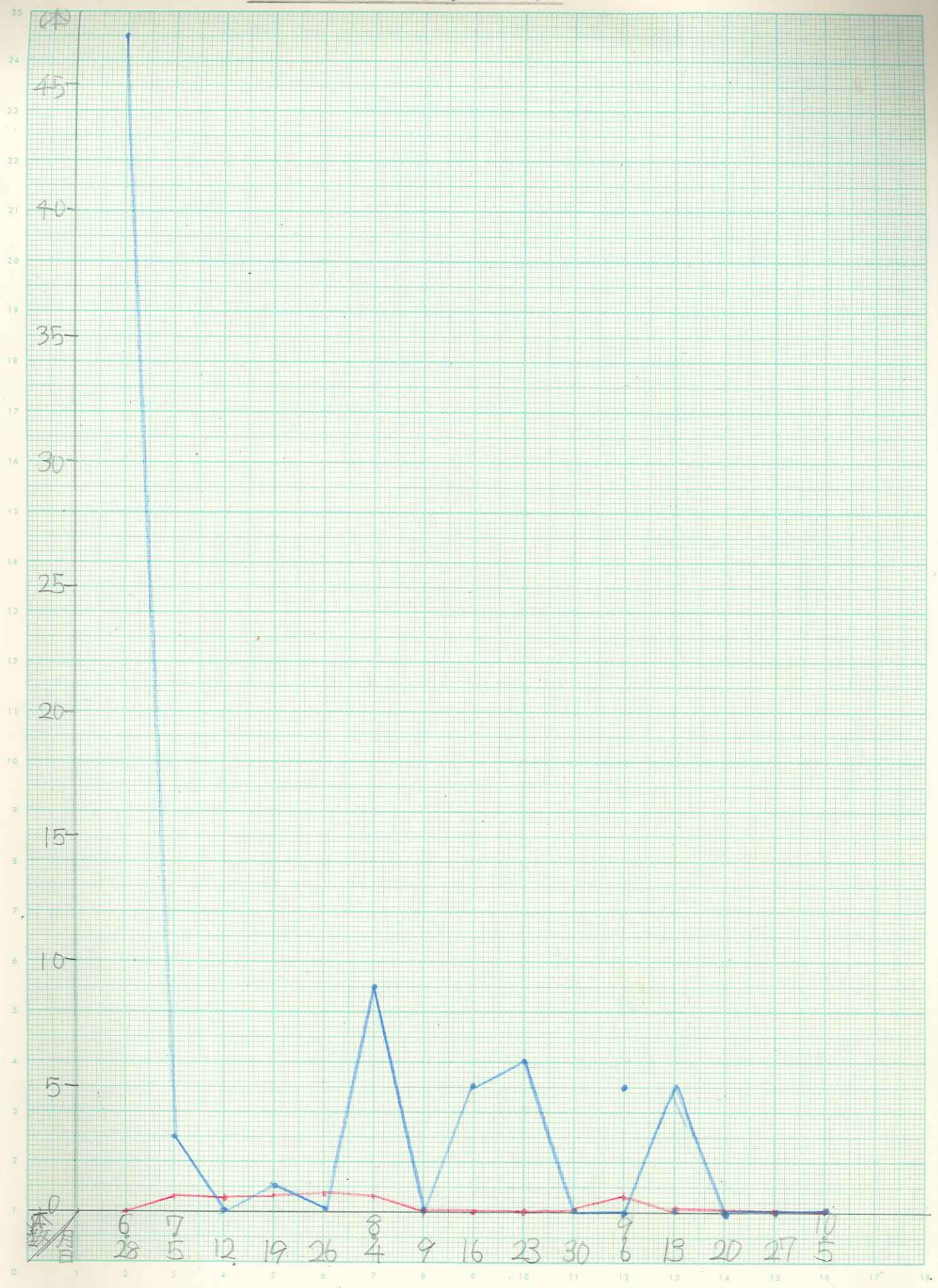
① タネツケバナ



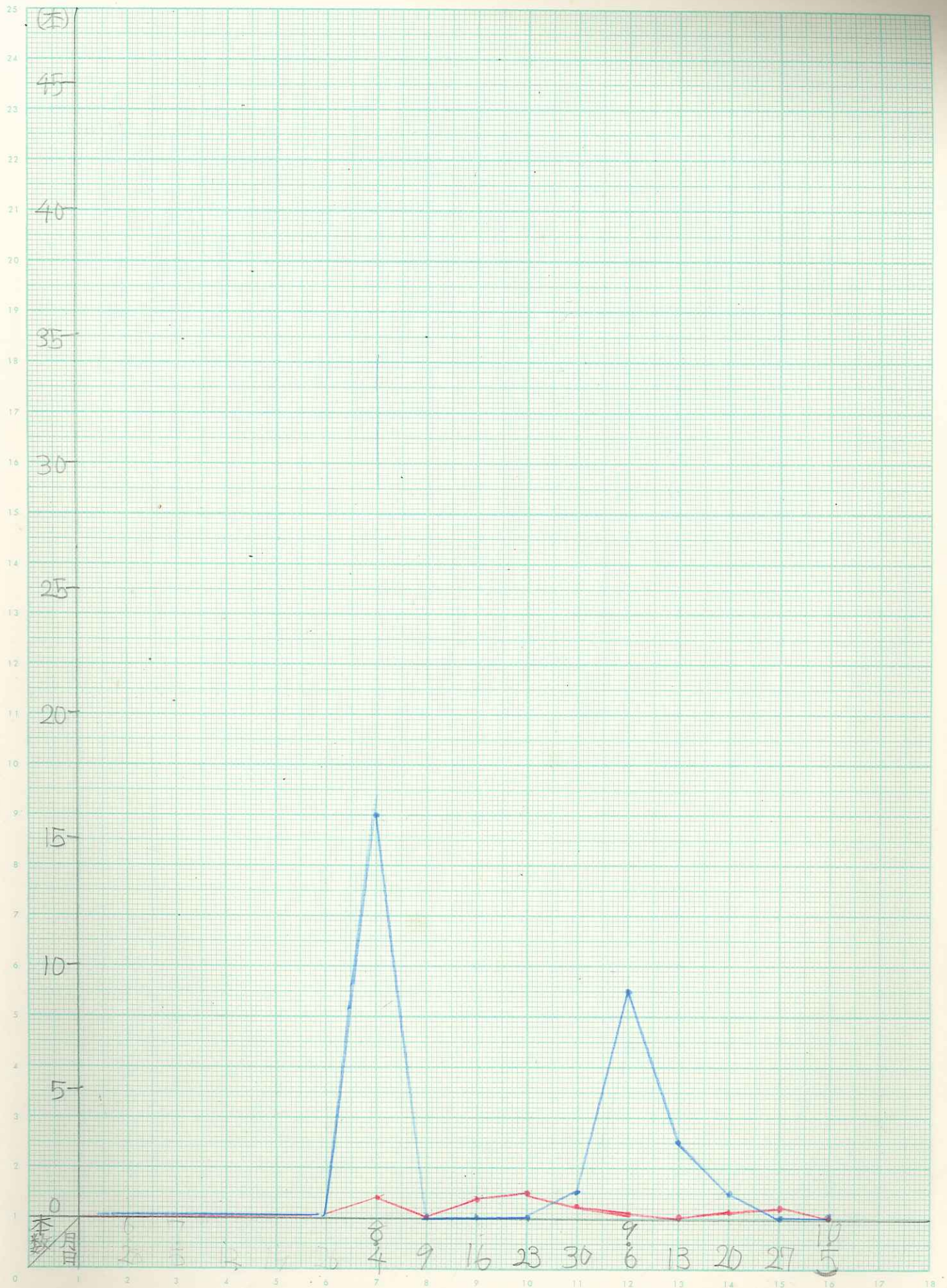
⑧ ヒメムカシヨモギ



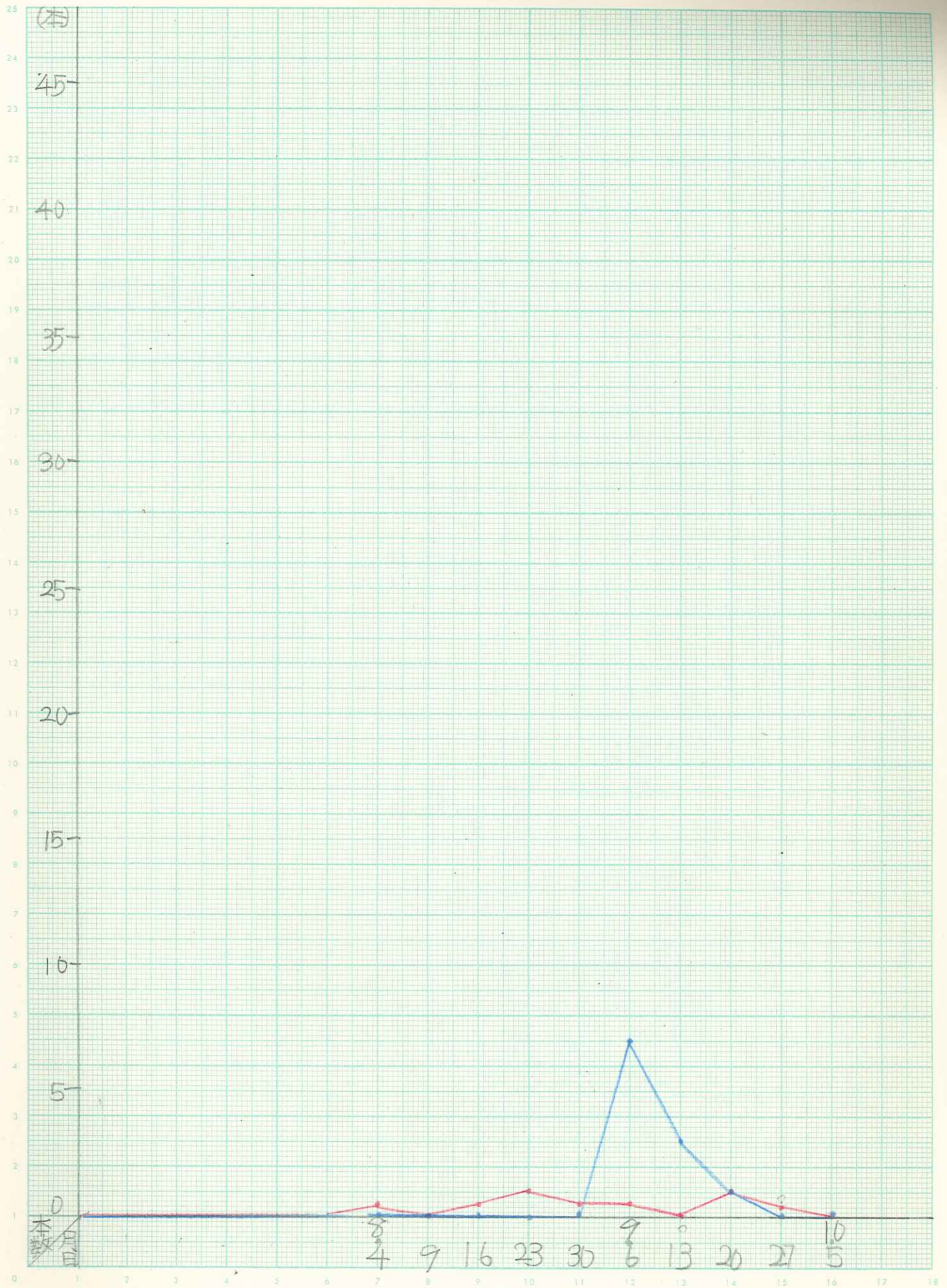
⑨ メヒシバ



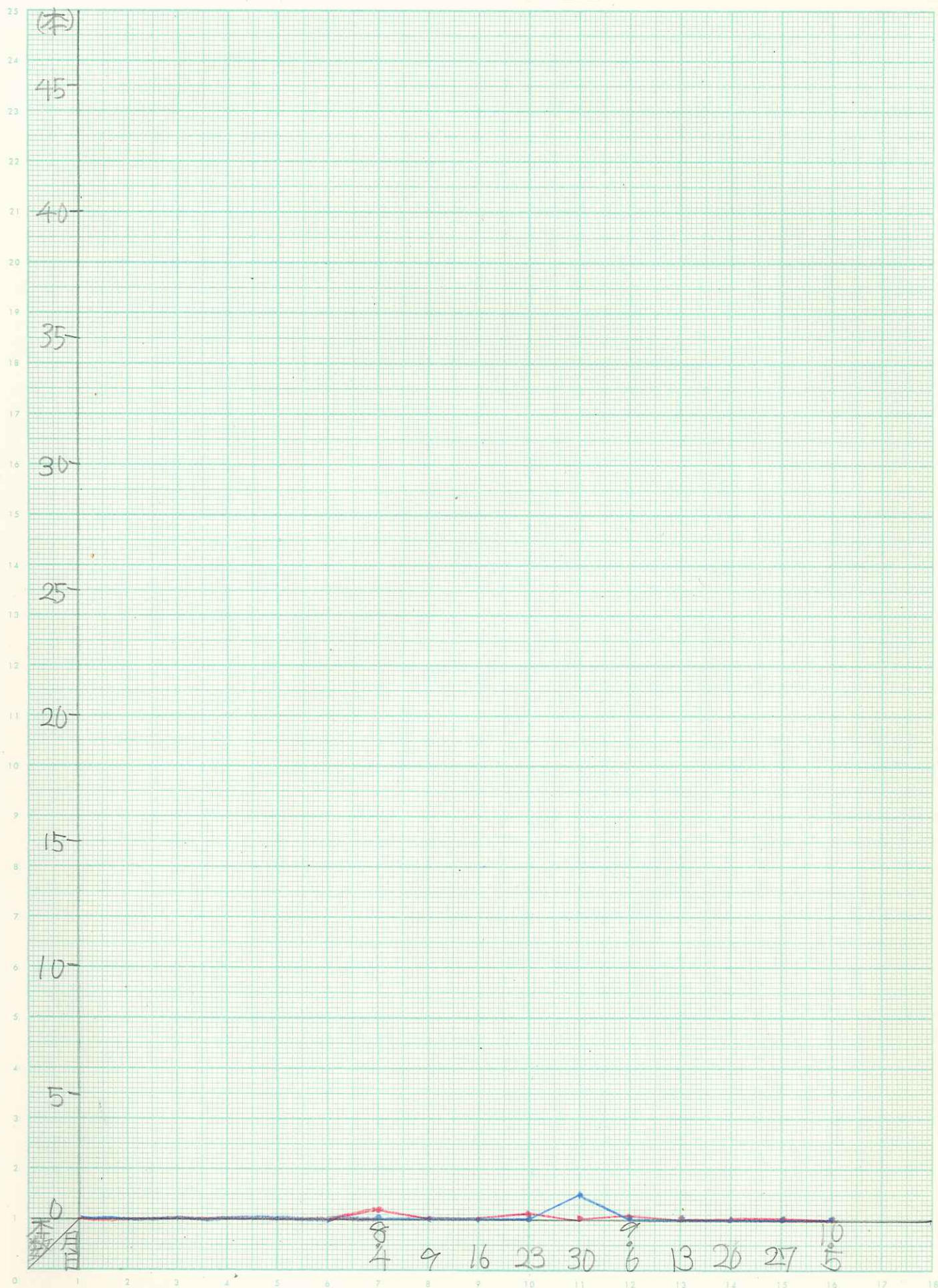
⑩ カタバミ



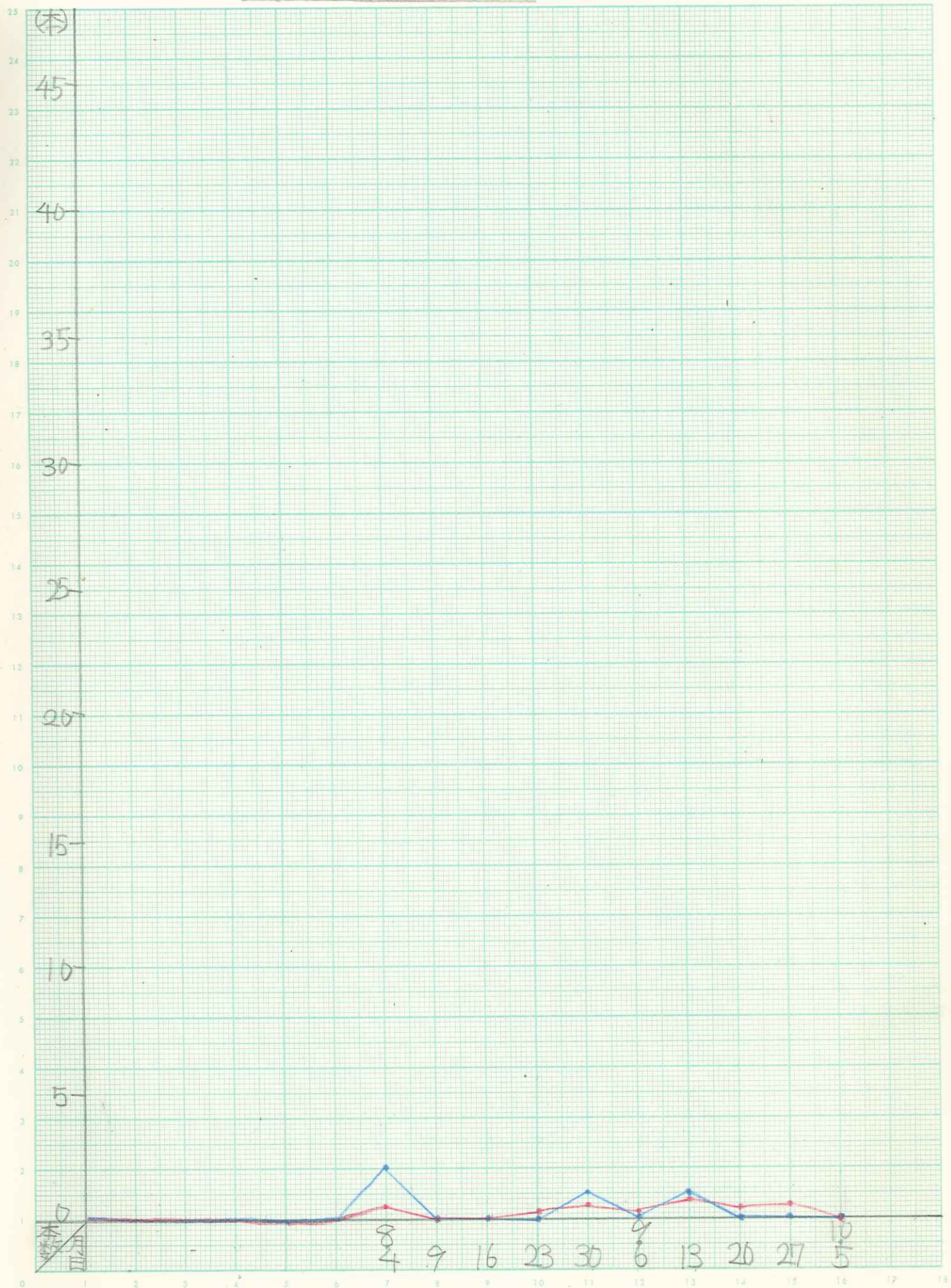
①カヤリゲサ



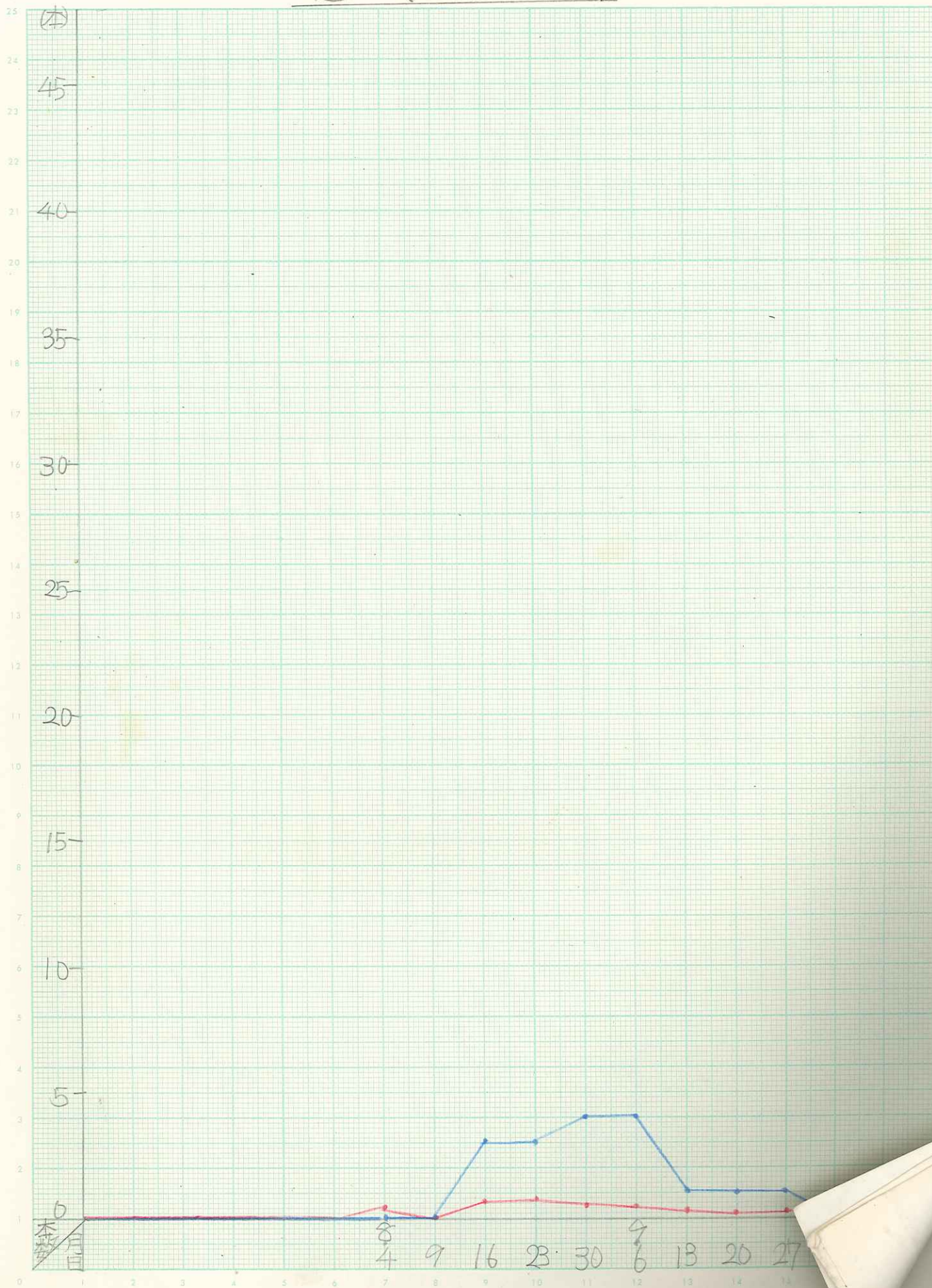
②エノコログサ



⑬ コニシキイワ



④ オニノゲシ



同じ坪数についての比較(総数)

